

# 令和2年度 事業報告書

公益財団法人婦人児童問題研究所

公益財団法人婦人児童問題研究所の令和2年度における事業の概要について、次のとおり報告いたします。

## I 事業の状況

当財団は、体操・新体操を中心に青少年の健全な育成を目的とし昭和25年に設立され、体操教室や新体操教室を中心とした体育関連の教室の運営及び、体育館・体操場・研修施設の運営を行ってきた。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年4月16日から5月31日まで放課後等デイサービス事業を除きその他すべての事業で臨時休業を行った。体操・新体操教室においては、年間を通して参加者が大幅に減少した。施設運営事業においては研修等の中止や合宿等の中止で、全ての施設運営事業を実施できなかった。また、臨時休業の影響で財務状況が悪化した為、持続化給付金の申請及び、雇用調整助成金の申請を行い支給された。

### 1. 公益目的事業【公1】

#### (1) 体操教室・新体操教室

##### ア. 体操教室・新体操教室開催実績

当法人の主要事業でもある体操・新体操教室は青少年の健全な育成を目指し、令和2年度も実施された。新型コロナウイルスの影響により、会員が大幅に減少した。また福岡市及び県大会、全国大会等の試合も新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止になり、出場大会も減少した。

主な出場大会： 第15回 全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会（3名出場）  
2020年 福岡県小学生中学生体操競技選手権大会（10名出場）  
第13回 福岡県小学生体操競技大会（15名出場）  
2020年 全九州小学生大会福岡県予選大会（14名出場）  
第25回 福岡県ジュニア新体操選手権大会（10名出場）  
第41回 福岡市ジュニア新体操競技大会（22名出場）  
第34回 市民総合スポーツ新体操競技大会（23名出場）  
第1回 きらり姫カップ新体操団体選手権大会（14名出場）

教室名	開催回数（年間）	受講者数（年間）
体操教室	1134回	19528名
新体操教室	1344回	15831名

##### イ. 体操、新体操合宿

当法人が毎年、春休み・夏休み・冬休み等に行っている合宿は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は全ての合宿を中止した。

##### ウ. 体操・新体操演技発表会

当法人で毎年3月に行っている体操・新体操の合同演技発表会は新型コロナウイルスの感染拡大

大防止により縮小して実施し、各クラスごとに分けて発表会を開催した。

(2) 施設の貸与

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、全ての研修及び合宿の受け入れを中止した。

(3) 大会の開催

グリーンカレッジ杯ジュニア新体操大会

本大会は、福岡県のジュニア新体操の普及と発展とともに、平成6年より行われている大会で、福岡県内の各団体から厳正に選ばれたジュニア選手が多数参加する大会である。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、開催を中止した。

主催：福岡県新体操クラブ連盟、共催：公益財団法人婦人児童問題研究所、後援：福岡市教育委員会

## 2. スポーツ指導及び健康教室事業【収2】

(1) ベビー体操教室

幼児と保護者を対象に幼児期の発育発達に合った運動の指導を行い、また保護者においては家庭でも出来る運動や幼児期の体操に関する知識を学んでもらう教室である。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、会員が大幅に減少した。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
ベビー体操教室	42回	172名

(2) アクロバット教室

体操の基本動作からばく転やアクロバット技を専門的に習得する教室であり、アクロバットにも関連するスポーツであるチアリーディングの生徒なども多く受講している。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、会員が大幅に減少した。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
アクロバット教室	168回	805名

(3) ダンス教室

新型コロナウイルスの影響により、会員が大幅に減少した上、専門の指導員が辞めた為、実施できなかった。

(4) きらきらサロン(ストレッチ教室)

地域住民の健康増進を目的とした事業として中高年齢者の運動不足や生活習慣病の改善を図るために、専門の指導員によるストレッチやリンパマッサージを行い、健康的な生活習慣を身に付くよう指導を行った。マッサージの後は地域の皆様の交流の場所として当施設を活用した。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、参加者が中高年齢者ということもあり減少した。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
ストレッチ教室	42回	184名

(5) 放課後等デイサービス

特別に支援が必要な小中高生を対象に、当法人の体操専門の指導員による体操指導やスポーツ指導を通じて、児童生徒の発育発達を促すとともに、放課後や長期休暇中において療育の場（日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等）を提供し、障害のある児童生徒や保護者への支援に大いに役立てた。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による臨時休業は休業は行わなかったが、参加者が減少した。

教室名	開催日数（年間）	受講者数（年間）
こどもスポーツひろば	291回	2456名